

令和5年度 農山漁村振興交付金(地域活性化型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)の事業について、農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2291号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の7地区(更木活性化協議会ほか6地区)について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。

その結果、優良と認められる地区が5地区、良好と認められる地区が1地区、総合的に低調と認められる地区が1地区との評価結果となった。

総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた1地区(鶴岡食文化創造都市推進協議会)について、重点指導の結果を評価した。その結果、当該地区においては来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行うこととなった。

3. 各地区の評価結果

8件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	岩手県	北上市	更木活性化協議会			●	●	■				A	計画された取組は全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 取組当初は新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントの中止などの影響もあったが、事業により構築した実施体制のもと、各種取組を着実に実施している。今後も本地域の特徴である養蚕を軸にした取組等を継続し、地域振興に務められたい。
東北	岩手県	陸前高田市	北限のゆず地域活性化協議会			●	●	● ■				B	計画された取組は概ね実施され、経済効果の目標は達成しているものの、その他の目標が未達であることから総合評価はBとした。 ゆずを基軸とした生産振興、メーカーとの商品開発、交流活動など幅広く展開しており、また栽培マニュアルの作成や栽培講習会の実施など今後の生産拡大に期待がもてる。現地調査では樹齢80年のゆずの木を保有する生産者へ訪問するなど、地域に根付く活動も好感が持て、地域活性につながると考えられる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	岩手県	奥州市	いさわ農村活性化推進協議会				●	●	○ □			A	計画された取組は全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 取組1年目に作成した地域の将来ビジョンに基づき、当初計画を上回る回数のイベントを実施しており、複数のツールを用い、英訳付きで情報発信するなどの工夫により交流人口及び関係人口の増加につながっている。また、古民家を活動の具体的な拠点に整備するとともに、活動組織のNPO法人化を目指していることも、活動の持続性という観点から評価できる。 引き続き、目標年度に向けた取組に期待したい。
東北	宮城県	大郷町	大郷粕川を元気にする協議会				●	●	○ □			A	計画された取組は全て実施され、目標も概ね達成されていることから総合評価をAとした。 コミュニティ検討会について、前年度は参加者数が低調、令和5年度は実施回数目標に達していないため、会の在り方も含めた検討が必要と考えられる。 また、目的の異なる複数の計画が同時に動く中で、調和して地域活性化につなげることが出来るよう、関係機関との調整を密にされたい。
東北	山形県	西川町	西川町山菜王国推進協議会				●	●	○ □			A	計画された取組は全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 昨年度低調であった移住者についても目標を上回る実績があり、ワークショップの開催により山菜の荒廃園地の維持にも道筋が付きつつある。山菜の販路拡大にも取り組んでおり、生産から販売まで継続した取組となるよう、次年度に向けて一層取組を強化されたい。
東北	山形県	朝日町	あさひりんごの郷協議会				●	●	○ □			C	活動計画の取組はすべて実施されているものの、目標値はc評価の項目が多いことから総合評価はCとした。 特にロンバス方式の導入面積が進んでいないことが課題に見える。 ただし、令和4年、5年での新規就農目標4名は合計では達していること、優良果樹地の中間管理・譲渡面積が増えていることを考慮すると目標であるりんご産業の維持に対しては成果をあげていると思われる。
東北	山形県	西川町	大井沢地域活性化協議会					●	○	○ □		A	計画された取組は全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。 実施体制については事務局が途中不在となったことからB評価としたが、他のメンバーで補完し、事務局会議を相当数開催し課題の共有などを図るなどの取組は評価できる。 活動を通じて、これまで地域活動に参加しなかった住民の参画や若い世代のけん引役も加わるなど、地域の活性化の兆しが見えることから、今後の活動に期待したい。
東北	山形県	鶴岡市	鶴岡食文化創造都市推進協議会	●	●	■ ▼	▲ ▼	△ ▼				C	令和5年度は本事業の根幹となる農業体験ツアーが実施されず、目標も一部を除き未達であったことから総合評価をCとした。事業の実施体制は維持されているため、引き続き目標達成に務められたい。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)
重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2)「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2291号農林水産省農村振興局長通知)別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:中村 勝則(秋田県立大学准教授)
委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学准教授)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

評価委員会	
1 日 時	令和6年7月26日(金) 10:00～12:00
2 場 所	仙台合同庁舎A棟6階会議室
3 議事概要	(1)評価結果について (2)評価結果の活用について (3)その他
4 主な意見	・特になし